

クリエイティブ アイランド 中之島

創造的な実験島

プラットフォームメディアとしての
プロモーションサイト公開

9つのナイト&デイプログラム
詳細発表

- a 大阪府立国際会議場
- b 大阪大学中之島センター
- c 大阪中之島美術館 2022年早春
開館予定
- d graf
- e 大阪市立科学館
- f 国立国際美術館
- g 中之島香雪美術館
- h フェスティバルホール
- i 大阪市中央公会堂
- j アートエリアB1
(大阪大学・ダンスボックス・
京阪ホールディングス)
- k 大阪市立東洋陶磁美術館
- l こども本の森 中之島
中之島まちみらい協議会

国内最大規模の創造ネットワーク始動

<https://nakanoshimalab.jp>



クリエイティブアイランド中之島—創造的な実験島—

■ 事業趣旨

「クリエイティブアイランド中之島」による都市のリブランディング

大阪市北区に位置する「中之島」は、堂島川と土佐堀川に挟まれた東西約3kmの中州です。

水都大阪を象徴する“中之島”は、美術館やコンサートホール、科学館、国際会議場などの多様な文化施設や歴史的建造物、企業の高層ビル群と、公園や水辺環境が共存する他に類を見ない都市の中州であり、パリのシテ島、ベルリンのムゼウムス・インゼルのように世界に誇る国際的な文化資産に満ちています。

「クリエイティブアイランド中之島」は、14機関による国内最大規模の創造ネットワーク組織が、中之島エリア全体をユニークベニューとしての「創造的な研究所」に見立て、様々なクリエイティブコンテンツを開発・創出していきます。

幕開けとなる2021年のスタートアップ企画では、プラットフォームメディアとしてのウェブサイトを立て上げ、9つのナイト&デイプログラムを展開します。

新型コロナウイルスによって世界が一変しましたが、文化と経済の両輪による持続可能な都市のリブランディングによって、ニューノーマル時代にふさわしい、“世界中の人々が訪れ集うクリエイティブなまち中之島”を目指します。これからの創造的な未来にご期待ください。

委員長からのメッセージ

「クリエイティブアイランド中之島実行委員会」は2019年に設立しました。しかしながら本格始動の2020年、新型コロナウイルスの影響により世界が一変し、経済・文化が多なる影響を受け困難を極める状況において、改めて本実行委員会の意義を見つめ、先行きが見えない今こそ、未来を志向するための組織間の垣根を超えた共創が重要である、と決意を新たにしました。

中之島は世界に冠たるクリエイティブアイランドとなるポテンシャルを有しており、このような組織ができるに至ったことは、今後の躍進に向けた一里塚となるものです。単体の施設がネットワーク化されれば、1+1が2ではなく大きなシナジー効果が生まれ、一つの面となって発展していくでしょう。今後は、何を実践していかに継続させるかが課題ですが、学術・芸術・技術の三つの「術」が交差することによって、はじめて文化というものが醸成されると確信しています。

国内最大級の創造ネットワークによるさまざまな取組を通じたコロナ新時代への提言とともに、2025年大阪・関西万博やSDGsの実現に向け、国全体の成長を牽引する都市大阪の発展に寄与することを目指します。

クリエイティブアイランド中之島実行委員会
委員長 西尾章治郎（大阪大学総長）



現在の中之島（協力：中之島まちみらい協議会／写真提供：朝日新聞）

〈参画施設〉



a. 大阪府立国際会議場

b. 大阪大学中之島センター



c. 大阪中之島美術館 2022年
早春開館

d. graf



e. 大阪市立科学館

f. 国立国際美術館



g. 中之島香雪美術館

h. フェスティバルホール



i. 大阪市中央公会堂

j. アートエリア B1



k. 大阪市立東洋陶磁美術館

l. こども本の森 中之島

クリエイティブアイランド中之島—創造的な実験島—

■事業コンセプト

創造的な実験島 “中之島”

- 3つのキーワード**
- ① コラボレーション（企画立案から共同で行う）
 - ② エクスチェンジ（各館の資源を交換する）
 - ③ リレー（テーマや時間、空間などの連続性、回遊性をもたせる）

①中之島施設プロモーション

中之島の人・文化資産
×
エクスチェンジによる
新価値創造



大阪市中央公会堂館内ガイドツアーの様子

②中之島プロモーション

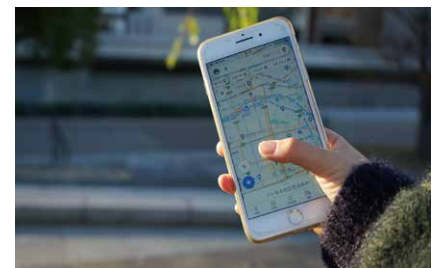
中之島の都市風景
×
アーティストによる
創造的実験



宇川直宏による中之島リサーチの様子（2018）

③プラットフォームメディア

中之島の間・人・出来事
×
プラットフォームメディアによる
芸術体験実験



スマートフォン対応のプラットフォームメディアのイメージ

■事業概要

プラットフォームメディアとしての プロモーションサイト

クリエイティブアイランド中之島の取り組みを創造発信するウェブサイトでは、写真家が撮り下ろした写真作品を扉に、中之島を紹介するプロモーション映像やプログラムのオンライン配信、開催後のレポートなどを掲載します。コロナ禍により来場することが困難な状況でも中之島の魅力に触れ、プログラムを体験できる機会を創出します。



URL：nakanoshimalab.jp

プロジェクトのメインビジュアルを紹介する 展示プログラム

「クリエイティブアイランド中之島」のメインビジュアルは、被写体との独特の距離感で知られる写真家・野口里佳の撮り下ろし作品です。2018年から2019年の2年間、野口が徒歩や自転車、船やセスナ機から捉えた中之島の風景は、現実の世界の風景でありながら、幻想的な魅力に満ちています。それらの写真を使って中之島のプロモーションポスターを作りました。独自の視点による“もう一つの中之島の姿”を紹介します。

会期：2月2日（火）～2月28日（日）

会場：アートエリア B1

2月のコア期間に開催する 9つのナイト&デイプログラム

2月の1週間をコア期間として、ウィズコロナ時代の新たな芸術体験の可能性を探求すべく、オンラインを中心にユニークベニューを舞台とした9つのナイト&デイプログラムを連続開催します。

実施期間：2021年2月6日（土）～2月14日（日）
開催方法：オンライン配信および一部は実来場参加あり

ラインアップ

- 2/6 [土] こども本の森を美術で巡るおとなの夜
- 2/7 [日] 都市イメージの情報発信とデザイン
- 2/8 [月] フェスティバルホール音響体験
スペシャルツアー
- 2/9 [火] ビルダーズ／工事記録に見る都市再考
～大阪中之島美術館～
- 2/10 [水] 東洋陶磁の過去・現在、そして
文化島としての中之島の未来を考える
- 2/11 [木・祝] デザインと科学技術・複眼で見る
家電コレクション
- 2/12 [金] 中之島建築リバークルーズツアー
- 2/13 [土] 宇川直宏ディレクターズトーク
「水都大阪における中之島というカルチャー
プラットフォーム～交流と分岐そして混交～」
- 2/14 [日] 宇川直宏ディレクション
「NAKANOSHIMA PERFORMING SCAPE」

クリエイティブアイランド中之島—創造的な実験島—

■ 事業概要



野口里佳 中之島ポスタープロジェクトより

プラットフォームメディアとしてのプロモーションサイト

ウィズコロナ時代の新たな芸術体験の可能性を探求すべく、オンラインとオフラインを組み合わせたプラットフォームメディアを構築します。2021年から本格展開を予定。

その第一弾となるプロモーションサイトでは、写真家が撮り下ろした写真作品を扉に、中之島を紹介するプロモーション映像やプログラムのオンライン配信、開催後のレポートなどを掲載します。コロナ禍により来場することが困難な状況でも中之島の魅力に触れ、プログラムを体験できる機会を創出します。

本プロジェクトのメインビジュアルは、被写体との独特の距離感で知られる写真家・野口里佳の撮り下ろし作品です。

野口が2018年から2019年にかけて中之島を徒歩や自転車や船などで巡り、様々な角度から捉えた複数の作品の中から、セスナ機に乗って撮影した2枚組の作品を厳選しました。

画面の左側が東端、右側が西端、それぞれ中之島の先端を並べて生じた中州のような架空のイメージが、“創造的な実験島”というコンセプトに根ざす本ネットワーク事業の取り組みを象徴しています。

URL : nakanoshimalab.jp



メインビジュアルを紹介する展示プログラム

「野口里佳 中之島ポスタープロジェクト」

会期：2月2日（火）—2月28日（日）

12:00～19:00 ※月曜休館

会場：アートエリア B1

料金：無料

野口里佳（のぐちりか／写真家）

1971年埼玉県生まれ。1994年に日本大学芸術学部写真学科を卒業、12年間のベルリン滞在を経て、2016年より沖縄を拠点に活動。主な個展に、「飛ぶ夢を見た 野口里佳」（原美術館、2004）、「光は未来に届く」（IZU PHOTO MUSEUM、2011）など。さいたまトリエンナーレ（2016）、第21回シドニー・ビエンナーレ（2018）など、現代美術の国際展にも数多く参加。『創造の記録』（roshin books、2017）、『夜の星へ』（IZU PHOTO MUSEUM、2016）など作品集も多数刊行。作品は東京国立近代美術館、国立国際美術館、グッゲンハイム美術館（ニューヨーク）、ポンピドゥセンター（パリ）などに収蔵されている。
<http://noguchirika.com/>

クリエイティブアイランド中之島—創造的な実験島—

■ 事業概要

9つのナイト&デイプログラム

国内最大規模の創造ネットワーク事業の2020年度のスタートアップ企画では、固有の資源を交換することで新たな価値を掘り起こす「エクステンジプログラム」、中之島のユニークベニューとアーティストの創造性によって都市の魅力を世界に発信する「中之島プロモーション」など、9つのナイト&デイプログラムを展開します。

実施期間：2021年2月6日（土）—14日（日）

配信 URL：<https://nakanoshimalab.jp>

開催方法：〈オンライン配信〉および
一部は〈実来場〉参加あり

※期間終了後もアーカイブ視聴をお楽しみいただけます。

program

1	2/6 [土]	エクステンジプログラム vol.1 こども本の森 中之島×国立国際美術館 こども本の森を美術で巡るおとなの夜	登壇者 安來正博（国立国際美術館学芸課長代理） 前川千陽（こども本の森 中之島館長）
2	2/7 [日]	中之島ミーティングポイント vol.1 大阪府立国際会議場× graf 都市イメージの情報発信とデザイン	登壇者 野口里佳（写真家） 松尾浩伸（株式会社大阪国際会議場営業部企画課） 服部滋樹（graf 代表）
3	2/8 [月]	エクステンジプログラム vol.2 フェスティバルホール×大阪大学 フェスティバルホール音響体験 スペシャルツアー	演奏 近藤浩志（大阪フィルハーモニー交響楽団チェロ・トップ奏者） トーク登壇者 下倉良太（音響学／大阪大学基礎工学研究科准教授） 加藤浩介（音響学／大阪大学共創機構、工学研究科講師）
4	2/9 [火]	エクステンジプログラム vol.3 大阪中之島美術館×大阪大学×アートエリア B1 ビルダーズ／工事記録に見る都市再考 ～大阪中之島美術館～	登壇者 遠藤克彦（建築家／株式会社遠藤克彦建築研究所代表取締役） 佐藤淳（構造家／佐藤淳構造設計事務所顧問） 柳田茂（株式会社銭高組執行役員大阪支社建築部統轄所長） 植木啓子（大阪中之島美術館準備室学芸企画担当課長） 木ノ下智恵子（大阪大学共創機構社会学共創部門准教授）
5	2/10 [水]	エクステンジプログラム vol.4 大阪市立東洋陶磁美術館× graf 東洋陶磁の過去・現在、そして 文化島としての中之島の未来を考える	登壇者 西田善太（BRUTUS 編集長） 小林仁（大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理） 服部滋樹（graf 代表）
6	2/11 [木・祝]	エクステンジプログラム vol.5 大阪市立科学館×大阪中之島美術館 デザインと科学技術・複眼で見る 家電コレクション	登壇者 嘉数次人（大阪市立科学館学芸課長） 植木啓子（大阪中之島美術館準備室学芸企画担当課長）
7	2/12 [金]	中之島プロモーション 中之島建築リバークルーズツアー	登壇者 高岡伸一（建築家／近畿大学建築学部准教授） 倉方俊輔（建築史家／大阪市立大学工学研究科都市系専攻准教授）
8	2/13 [土]	中之島プロモーション 宇川直宏ディレクターズトーク 「水都大阪における中之島という カルチャープラットフォーム ～交流と分岐そして混交～」	登壇者 宇川直宏（“現在美術家”／DOMMUNE 主宰） 進行 木ノ下智恵子（大阪大学共創機構社会学共創部門准教授）
9	2/14 [日]	中之島プロモーション 宇川直宏ディレクション 「NAKANOSHIMA PERFORMING SCAPE」	出演 Salyu（ボーカリスト） ディレクション 宇川直宏（“現在美術家”／DOMMUNE 主宰） 演奏 葛西友子（マリンバ）、井上登紀（フルート）

クリエイティブアイランド中之島—創造的な実験島—

9つのナイト&デイプログラム

1 エクスチェンジプログラム vol.1 こども本の森 中之島×国立国際美術館

こども本の森を美術で巡るおとなの夜

登壇者 安來正博 (国立国際美術館学芸課長代理)
前川千陽 (こども本の森 中之島館長)

絵本と美術の世界は、ともに私たちの感性と想像力を育み、日々の生活に豊かな心の安らぎを与えてくれます。こども本の森 中之島と国立国際美術館がコレクションを持ち寄って、絵本と美術を比較しながら、作家たちがどのような表現と造形の世界を繰り広げていったのか探ります。

オンライン配信 2月6日(土) 18:30～19:30

主催：こども本の森 中之島

3 エクスチェンジプログラム vol.2 フェスティバルホール×大阪大学

フェスティバルホール音響体験 スペシャルツアー

演奏 近藤浩志 (大阪フィルハーモニー交響楽団
チェロ・トップ奏者)
トーク 下倉良太 (音響学/大阪大学基礎工学研究科准教授)
登壇者 加藤浩介 (音響学/大阪大学共創機構、工学研究科講師)

フェスティバルホールの魅力を解き明かすツアー&トークでは、音響学研究者のナビゲートのもと、大阪フィルハーモニー交響楽団チェロ・トップ奏者の演奏を約2500の客席を移動して聴き比べたり、専門的解説を通じて、音響空間の奥深い世界と、そこに込められた技巧を掘り下げます。

実会場

日時：2月8日(月) 18:30～20:00 (受付・開場 18:00)
会場：フェスティバルホール
料金：2,000円 定員：100名 (要チケット購入・先着順)
チケット購入：<https://halltour.peatix.com/>

オンライン配信 2月8日(月) 19:20～20:00 (トーク視聴のみ)

主催：フェスティバルホール

5 エクスチェンジプログラム vol.4 大阪市立東洋陶磁美術館×graf

東洋陶磁の過去・現在、そして文化島 としての中之島の未来を考える

登壇者 西田善太 (BRUTUS 編集長)
服部滋樹 (graf 代表)
小林仁 (大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理)

中国・韓国・日本陶磁の国宝を含む世界第一級の質と量を誇る東洋陶磁美術館のコレクションを、同館学芸員と graf のクリエイティブディレクター、雑誌 BRUTUS の編集長が、専門分野から紐解き新たな視点を紡ぎながら、文化資産が豊富な中之島の可能性と未来について考察します。

オンライン配信 2月10日(水) 18:00～19:30

主催：大阪市立東洋陶磁美術館

2 中之島ミーティングポイント vol.1 大阪府立国際会議場×graf

都市イメージの情報発信とデザイン

登壇者 野口里佳 (写真家)
松尾浩伸 (株式会社大阪国際会議場営業部企画課)
服部滋樹 (graf 代表)

中之島の文化施設を点から線、線から面へと繋ぐためのロビー空間を活かした情報発信のアイデアについて語り合う「中之島ミーティングポイント」では、国際会議場スタッフ、クリエイティブディレクター、写真家が、中之島の魅力とその創造的活用について対話を繰り広げます。

オンライン配信 2月7日(日) 14:00～16:00

主催：大阪府立国際会議場

4 エクスチェンジプログラム vol.3 大阪中之島美術館×大阪大学×アートエリア B1

ビルダーズ/工事記録に見る都市再考 ～大阪中之島美術館～

登壇者 遠藤克彦 (建築家/株式会社遠藤克彦建築研究所代表取締役)
佐藤淳 (構造家/佐藤淳構造設計事務所顧問)
柳田茂 (株式会社銭高組執行役員大阪支社建築部統轄所長)
植木啓子 (大阪中之島美術館準備室学芸企画担当課長)
木ノ下智恵子 (大阪大学共創機構社会学共創部門准教授)

未来に名を残す建築の変遷と都市開発の技術発展を実感できる中之島。一般に公開されることのない「大阪中之島美術館」の建設記録映像の特別上映と、建築家、構造家、施工者によるトークによって、建築物とその構造に秘められた技巧や最先端技術と都市の成り立ちを考察します。

実会場

日時：2月9日(火) 18:30～20:00 (受付・開場 18:15)
会場：アートエリア B1
料金：無料
定員：20名 (要事前申込・先着順)

オンライン配信 2月9日(火) 18:30～20:00

主催：大阪中之島美術館準備室、アートエリア B1 助成：一般財団法人地域創造

6 エクスチェンジプログラム vol.5 大阪市立科学館×大阪中之島美術館

デザインと科学技術・複眼で見る家電 コレクション

登壇者 嘉数次人 (大阪市立科学館学芸課長)
植木啓子 (大阪中之島美術館学芸企画担当課長)

戦中・戦後の真空管ラジオから、高度経済成長期に生まれた家電三種の神器、1970年代に登場し一世を風靡した Apple コンピューターまで、暮らしや文化に溶け込んだ家電製品の数々。大阪市立科学館のこれらのコレクションを前に、科学・技術史とデザインの視点でトークします。

オンライン配信 2月11日(木・祝) 14:00～15:30

主催：大阪市立科学館

クリエイティブアイランド中之島—創造的な実験島—

9つのナイト&ディプログラム

7 中之島プロモーション

中之島建築リバークルーズツアー

登壇者 高岡伸一（建築家／近畿大学建築学部准教授）
倉方俊輔（建築史家／大阪市立大学工学研究科
都市系専攻准教授）

大大阪時代を象徴する重要文化財の中之島図書館や中央公会堂をはじめ、昭和から平成の現代建築、そして2022年早春の開館に向けて建設中の大阪中之島美術館まで。各時代の建築群を川から眺め、専門家による対談とともに巡ることで、中之島の都市景観の新たな可能性を発見します。

オンライン配信 2月12日（金）19:00～20:00

8 中之島プロモーション

宇川直宏ディレクターズトーク

水都大阪における中之島というカルチャープラットフォーム ～交流と分岐そして混交～

登壇者 宇川直宏（“現在美術家”／DOMMUNE 主宰）
進行 木ノ下智恵子（大阪大学共創機構社会学共創部門准教授）

マルチな才能によって国内外で活動する宇川直宏は、2018年に中之島をリサーチし18もの企画を構想し、そのアイデアの1つである中之島の風景と音楽を組み合わせたオリジナルのプロモーション映像を2/14に配信。その前夜、大阪の歴史とメディア産業の関係性を紐解きます。

オンライン配信 2月13日（土）14:00～15:30

9 中之島プロモーション 宇川直宏ディレクション

NAKANOSHIMA PERFORMING SCAPE

出演 Salyu（ボーカリスト）
演奏 葛西友子（マリンバ）、井上登紀（フルート）
ディレクション 宇川直宏（“現在美術家”／DOMMUNE 主宰）

中之島の様々なユニークベニューを舞台にしたリサーチと創作による「中之島プロモーション」。記念すべき第一弾は、ディレクター宇川直宏の鋭い洞察力によって仕掛けられた、唯一無二のSalyuの歌声と都市風景の化学反応を、創造的実験島「中之島」の魅力として世界に発信します。

オンライン配信 2月14日（日）14:00～

協力：コンラッド大阪、一本松海運株式会社



Salyu（さりゅ）

1980年神奈川県生まれ。2000年、音楽家・小林武史のプロデュースによりデビュー。映画『リリイ・シュシュのすべて』（岩井俊二監督）の音楽プロジェクトに参加。2004年、Ilmari × Salyuとして「VALON」を発表後、Salyu名義でソロデビュー。2006年、Bank Band with Salyuとして、桜井和寿（Mr.Children）とのデュエットソング「to U」を発表。2011年、声を多重録音する手法を用いた新プロジェクトsalyu × salyuを始動し、アルバム『s(o)un(d)beams』を小山田圭吾（Cornelius）との共同プロデュースにて発表。さまざまな形態、編成、客演など実演家として、コラボレーションや自身の研究プロジェクトを通してボーカル表現の新しい可能性を追究している。2020年春、個人の音楽事務所「株式会社 新しいYES」を設立。

※実会場での観覧を予定しているプログラムは、新型コロナウイルスの感染状況により【オンライン配信のみ】に変更となる場合があります。

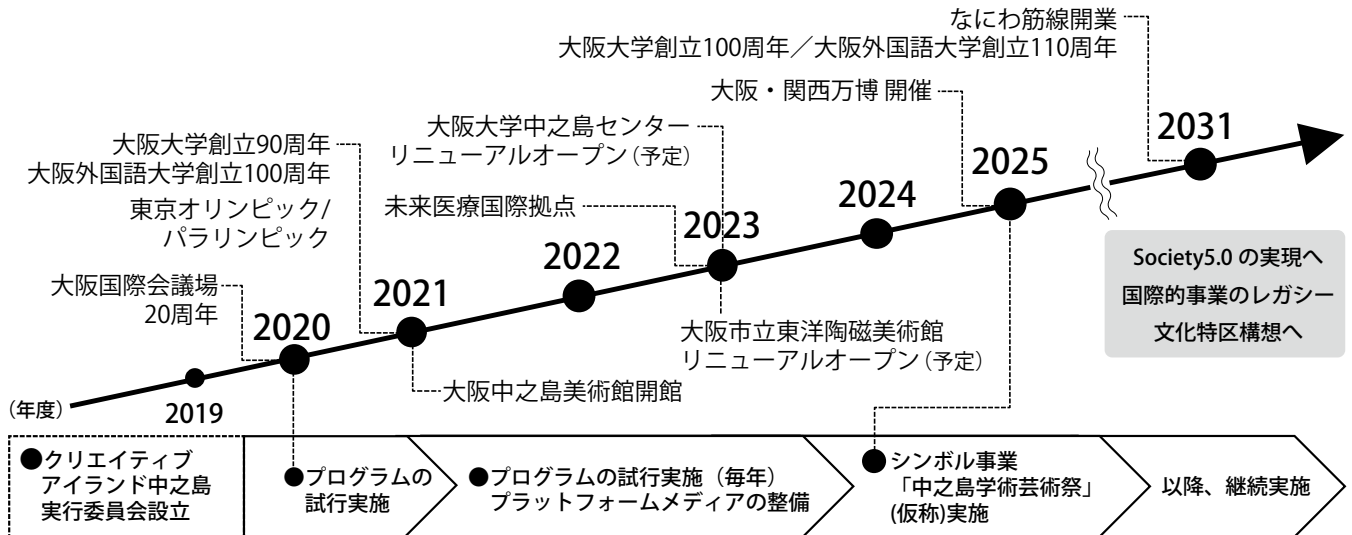
※各プログラムとも定員に達し次第、受付を終了いたします。

※内容は予告なく変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

クリエイティブアイランド中之島—創造的な実験島—

将来ビジョン／シンボル事業 中之島学術芸術祭（仮称）に向けて

本事業の将来構想には、2025年の関西万博に向けて、中之島の文化施設を「パビリオン」に見立て、学術・芸術・技術の三つの術を交差させた共通テーマをもとに、各館の資源を活用した企画の定期実施を想定。さらに中之島公園や水辺、公開空地なども含めた事業展開により規制緩和を推進し、中之島エリアを我が国有数の文化芸術特区化とする機運醸成を図るとともに、国内外から人々が訪れる「クリエイティブアイランド中之島」を目標とします。



■ 主催（2020年度事業）

クリエイティブアイランド中之島実行委員会、文化庁【令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業】

■ 運営組織

クリエイティブアイランド中之島実行委員会

構成団体 | 大阪府立国際会議場、大阪市中央公会堂、大阪市立科学館、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪大学・ダンスボックス・京阪ホールディングス（アートエリア B1）、大阪中之島美術館準備室、graf、国立国際美術館、こども本の森 中之島、中之島香雪美術館、中之島まちみらい協議会、フェスティバルホール

実行委員長 | 西尾章治郎（大阪大学総長）

経緯 | 2018年7月～ アートエリア B1（大阪大学・京阪ホールディングス・ダンスボックス）が、文化庁戦略的芸術文化創造推進事業「クリエイティブ・アイランド・ラボ 中之島」として、中之島を拠点とする文化施設と連携したツアーやトークなどを実施。

2019年5～7月 文化施設等の代表者らによりクリエイティブアイランド中之島実行委員会の設立に向け協議。

2019年8月 クリエイティブアイランド中之島実行委員会設立。

広報に関するお問合せ

クリエイティブアイランド中之島 事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島 1-1-1 京阪電車なにわ橋駅地下1階 アートエリア B1 内
Tel 06-6226-4006 (12:00-19:00 / 月曜休) E-mail info@nakanoshima-lab.jp

〈画像クレジット〉 p1: a.大阪府立国際会議場、b.大阪大学中之島センター、c.大阪中之島美術館外観イメージ(大阪市提供 設計:遠藤克彦建築研究所)、d.graf、e.大阪市立科学館(提供:大阪市立科学館)、f.国立国際美術館、g.中之島香雪美術館、h.フェスティバルホール(提供:フェスティバルホール)、i.大阪市中央公会堂(提供:大阪市中央公会堂)、j.アートエリア B1、k.大阪市立東洋陶磁美術館、l.こども本の森 中之島